

# DAY1：観光

～盛り上がる旅行需要 受け入れ側の課題は～

【主催】日本経済新聞社  
【特別協力】三井不動産

【後援】内閣府  
【協力】よんなな会

# 知恵結集し地方再興へ

## 基調講演

### この地ならではの場を醸す



水野 直人氏  
石田屋二左衛門/黒龍酒造代表

り、新たに取り組む ESHIKOTO は、黒龍酒造が培ってきた哲学や技術、精神や美学を、酒を含めたあらゆる物事に拡張するための新ブランドだ。

ムだと考える。私たちの観光におけるポテンシャルは、この地でしか経験できないものごとをいかに耕し、種をまき、育て、磨きをかけて、対価以上の感動を生み出せるか。つまりこの地ならではの場を醸せるかどうかだ。

私たちが蔵を置く福井県は大きな岐路に差し掛かっている。コロナ禍で停滞したインバウンド(訪日外国人)の再開をはじめ、高速交通網の進展は人の移動や物流の高速化など、交流拡大の好機をもたらすと考える。酒造り以外に地域に返せるものは何か、という長年の問いに、具体的に答えを出すタイミングだと感じた。

そこで、改めて企業の存在意義であるパーパスとブランド構造について、整理と見直しを行った。私たちが誓ったのは「我々は九頭竜川とともに生きる」という地域との共生関係であ

私たちのものづくりの力と、地域の生産者やものづくりをする方々、付加価値を生み出すクリエイターが協働して、ESHIKOTOという場所やブランドを利用する。そしてこの地でしかできない経験や食、出会いや学び、遊びといった感動を生み出すことで、国内外から多くのファンや観光客、同志が、九頭竜川をはじめ永平寺や福井を訪れるようにする。

その結果、ふるさとに成長や持続性をもたらすし、地域の自然保護や環境維持へ投資がなされる。ESHIKOTOはそれを具現化する活動のプラットフォーム

おかげさまでESHIKOTOは、開業1周年を迎えた。基幹施設は大人がゆっくりとお酒を楽しむ場所がコンセプトであり、20歳未満の方、ペット連れの方の入場をお断りしている。敷地内には酒などを販売するショップのほか、レストランやパティスリーがあり、さまざまなイベントを開催する。来年にはオーベルジュや新たな飲食店を建設・開業予定だ。

地方の小さな酒蔵が、2000年間地域でお世話になってきたことを、これからいかに返せるか。挑戦は始まったばかりだが、誠心誠意取り組みたい。



京都府美山町は世界観光機関選定のベストツーリズムビレッジ

福井県永平寺町のESHIKOTOではゆったりと日本酒を楽しむ